


Family Building by Donor Conception and Donor Linking

提供精子・提供卵子による家族づくりとドナーリンク（血縁者探し）

日本でも提供精子による人工授精で最初の子どもが生まれてから 70 年以上が経過した。最近では提供精子で生まれた日本の当事者たちの間からもドナー情報の開示を求める声が聞かれるが、それでもなおドナーの匿名性は維持されたままである。諸外国には、ドナーの情報をすることは提供精子や提供卵子で生まれた人の権利であると、法律でこれを擁護しているところもある。オーストラリアのヴィクトリア州もその一つであり、出生者は生まれた年代に関係なく誰でも希望すればドナーの氏名を含む情報を得ることができる。本セミナーでは、スウィンバーン工科大学のデボラ・デンプシー氏より最新の調査に基づいて、オーストラリアの提供精子で生まれた人やその家族、ドナーたちが、政府主導の情報登録制度を利用したり、民間の遺伝子検査などを利用して精子提供での血縁者を探してる様子やその理由を紹介してもらう。そして、ヴィクトリア州のドナーリンクモデルにおいて、提供精子で生まれた人や、提供を受けた親（主にシングルマザー）、および精子ドナーが互いに情報を得られる等、彼らのニーズを支援することで、どのような長所と課題があるかについても述べていただく。

<p>講師</p> 	<p>デボラ・デンプシー Deborah Dempsey（スウィンバーン工科大学）</p> <p>“Families of Strangers? Donor-linked families in Victoria, Australia”</p> <p>「見知らぬ人と家族？ オーストラリア・ヴィクトリア州におけるドナーリンクでつながる家族」</p>
<p>司会・討論</p>	<p>仙波由加里 Yukari Semba（お茶の水女子大学、IGS）</p>

言語：英語（日本語逐次通訳付き）通訳者：松村直樹（Colts Works）

日時：2020年 9 月 9 日（水）12:15～13:45

zoom オンライン開催

要事前申込・登録制：QRコードか、当研究所のHPから、
（参加無料） お申し込み下さい

